

第196号  
(2026.2.1)

# おごせ 議会だより



## 12月定例会

- 12月定例会 . . . . . P2
- 12月定例会賛否表, 研修報告 . . . P4
- 町政を問う (一般質問) . . . . . P5
- 議会活動報告 . . . . . P11
- 顔の見えるまちおごせ . . . . . P12

■こども議会：12月16日(火)  
「越生町こども議会エコ推進宣言」

# 12月定例会

令和7年第4回定例会は、12月2日から5日までの4日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、条例の改正7件、条例の制定2件、指定管理者の指定3件、補正予算3件の15件でした。慎重審議の結果、全議案が可決されました。一般質問には9名の議員が登壇し、町政に関する質問をしました。

## 令和7年度補正予算 可決 一般会計 4,878万7千円 増額

越生自然休養村センター・五大尊花木公園・越生町インフォメーションセンターの指定管理決まる

### 12月定例会議案

#### 指定管理者の指定

##### ■越生自然休養村センターの指定管理者の指定

株式会社越生特産物加工研究所を指定した。 賛成多数 可決

##### ■越生町インフォメーションセンターの指定管理者の指定

株式会社グッドスタッフを指定した。 賛成全員 可決

##### ■五大尊花木公園の指定管理者の指定

有限会社戸口工業を指定した。 賛成全員 可決

指定管理者が  
管理する施設



自然休養村センター



インフォメーションセンター



五大尊花木公園

#### 一般会計補正予算

##### ■一般会計補正予算（第3号）

既定の予算に、4,878万7千円を追加し、51億2,916万2千円とする。 賛成全員 可決

#### 特別会計補正予算

##### ■越生町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

既定の予算に、1億4,109万1千円を追加し、13億7,296万4千円とする。 賛成全員 可決

##### ■越生町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

既定の予算に、84万2千円を追加し、14億6,524万8千円とする。 賛成全員 可決

#### 条例制定

##### ■越生町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

賛成全員 可決

##### ■越生町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

賛成全員 可決

「こども誰でも通園制度」が令和8年4月1日から施行されることに伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営についての基準を定める。

#### 条例改正

##### ■議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

賛成多数 可決

##### ■町長及び副町長の給与等に関する条例及び越生町教育委員会教育長の給与等に関する条例

賛成全員 可決

##### ■職員の給与に関する条例

賛成全員 可決

##### ■越生町一般職の任期付職員の採用等に関する条例

賛成全員 可決

##### ■会計年度任用職員の報酬等に関する条例

賛成全員 可決

##### ■公益的法人等への職員の派遣等に関する条例

賛成全員 可決

人事院勧告及び埼玉県人事委員会報告を踏まえ、それぞれ改定する。

##### ■越生町土砂のたい積の規制に関する条例

賛成全員 可決

宅地造成等規制法の改正及び埼玉県関係条例の制定に伴い、改定する。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

反対します

議員報酬をアップするならば先にやるべきことをやるべき

木村 好美

「身を切る改革」と訴え、維新は与党となった。「定数削減」と言いながら、国会議員の報酬を月5万円増額する「歳費法改正案」を巡り与党内で混乱中。

議案第44号は国の人事院勧告による議員報酬のアップ案。議員は社会保険や手当はない、越生町は調査費等もない。春先から夏にかけては「国民年金」「国保税」等の納付書もくるので根本から問題あり。「なり手不足問題」は喫緊の課題だ。国、県の町村議会でも、議員報酬の増額を訴えているが、報酬が上がった自治体の共通点は、議会が丸となり努力しているのが実態。越生町議会は新議長のもと、改革を始めたばかり。まずは、やるべきことをやるべき。よって、国主導の「努力なき」本案に反対する。

賛成します

議員報酬アップ反対は民主主義の自殺行為だ

水沢 努

現在、全国町村議会議長会の最大の問題が「議員のなり手不足」だ。そのため同会は議員報酬アップを要求している。もちろんそれだけで足りず、最低の必要事項だ。越生町議会でも現在、なり手不足問題は最大の課題だ。これを解決しないと次回の選挙は無投票となるおそれがある。そこで議員定数の改定とこれを通じた議員報酬アップが議会改革の焦点の課題となっている。なぜならば、無投票当選は民主主義の危機を意味するからだ。自分で議員になりたいだけで町民にチェックされることなく議員になれては危険だ。人事院勧告に基づき公務員は報酬アップするのに、このインフレの時代に議員だけ報酬アップを認めないとなると、新しい議員のなり手はますますいなくなり、民主主義の危機は進むばかりだ。

越生自然休養村センターの指定管理者の指定について

反対します

屋台骨となる会社経営は小細工なしの抜本的改革しかない

池田かつ子

以前から指摘されているように、会社に専任の社長がいないことで受ける損害は大きい。また、今回から、自主事業に参入する業者が、休養村センターの経営にどのようなかわっていくのかも不明瞭である。行き当たりばったりのお任せ運営では困る。

それから社員の採用は、これまで出合いがうまくいかず、せつかく雇った人材を会社の成果につなげることができなかったという苦い経験がある。さらに、経営の内容や人材の登用については、議会としては詳細をあまり聞かされることなくあったため、未だに会社の実像が見えて来ない。しかし、会社は、過去に町からの増資と融資を受けているため、議会にも責任がある。これらいくつもの課題を乗り越えていかなければならないことを考えると安定経営など期待できず反対とする。

PICK UP

こども議会開催！こどもの声がかこ議場で響く！

開会を知らせるベルの後に60人のこども議員全員による「越生町こども議会エコ推進宣言」の発議の朗読がありました。この宣言は、児童から出てきた案の中からテーマを決め、練り上げたものです。

6人の質問者からは、これまでたくさんの人々とかかわってきた体験を元に、自分たちの住んでいる大好きな越生町をさらに良くしたいという内容の質問や提言があり、静かな中にも堂々とした態度には驚かされました。

こども議員の熱い思いに町長は、今後取り入れられることは、取り入れていきたいと決意を述べていました。

また、こども議員の多くが、とても貴重な経験ができた感想を語っていたのが印象的でした。(12月16日)



コラボ企画！ひまわり子ども室 + OGOSE こどもベース

おごせっ子が楽しみにしているイベントのひとつ、ひまわり子ども室の「クリスマス会」に、令和6年度からOGOSEこどもベースの「クリスマス子ども食堂」がジョイント。今回も中央公民館をフル活用して行われました。町民、町、町社協の連携で、子どもたちに、おいしいカレーと楽しいひとときを提供していました。(12月13日)



# 12月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、休は休み、退は退席、議は議長

議案番号	件名	議員氏名										審議結果	
		栗原誠	岩田眞一	長根弘倫	高橋一正	関根眞一	池田かつ子	水沢努	宮島サイ子	木村好美	島野美佳子		木村正美
議案44	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
議案45	町長及び副町長の給与等に関する条例及び越生町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案46	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案47	越生町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案48	会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案49	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案50	越生町土砂のたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案51	越生町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案52	越生町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案53	越生自然休養村センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議	可決
議案54	越生町インフォメーションセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案55	五大尊花木公園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案56	令和7年度越生町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案57	令和7年度越生町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案58	令和7年度越生町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

## 令和7年度「入間郡町村議会議員表彰式並びに研修会」

11月14日（金） 三芳町立中央公民館

議員表彰では、越生町議会から木村好美議員と池田かつ子議員が表彰されました。

木村好美議員は、令和5年度及び令和6年度の2年間、入間郡町村議会議長会の会長として職務を務められ感謝状が贈呈されました。

池田かつ子議員は、議員として10年以上在職し、地方自治の発展に寄与されたことが認められ表彰を受けました。



木村好美 議員



池田かつ子 議員

研修会は、『インバウンド4000万人時代における地域に根差した観光振興』をテーマに、日本総合研究所の高坂晶子氏が講演されました。

地域に根差した観光振興は単なる来訪者の数を競うだけでなく、地域の暮らしと自然・文化を守りながら持続的に成長する仕組みづくりが必要であると考えさせられました。



研修会の様子



☆全質問事項は下記のとおりです☆

## ◆質問事項◆

### 1. 水沢 努

- ①「静かなる有事（少子高齢化と人口減少の進行）」は近い将来、災害に匹敵する「本格的な有事」になるおそれがある。備えはあるか
- ② 大きな自治体との合併が町民に最大の安心安全を担保する道ではないか

### 2. 高橋 一正

- ① 個人住宅等リフォーム助成制度の拡充について
- ② 福祉避難所の問題について

### 3. 宮島 サイ子

- ① 越生猟友会について伺います
- ② 紙おむつ支給事業についてお聞きします

### 4. 木村 好美

- ①（続）町の防災について
- ② 中学生の声を聞いて

### 5. 島野 美佳子

- ① 歳をとっても安心してらせるために
- ② 梅の里存続のために（2）
- ③ デジタル化に伴う業務の見直しは

### 6. 長根 弘倫

- ①「ハイキングのまち宣言」について
- ② 越生町ハイキング道のクマ出没に関して伺います
- ③ 越生町「健康づくり・ハイキング連携」実績の概要について伺います

### 7. 栗原 誠

- ① 町民の方々に漏水探偵になって頂くには
- ② 自宅以外で手持ち花火をやるには
- ③ 復活越生の盆踊り

### 8. 池田 かつ子

- ① 子どもたちの声を生かした町づくりを！！
- ② 災害時、安心して避難所へ移動するための高齢者避難の仕組みは万全か

### 9. 関根 真一

- ①「平物産問題」、9月定例会以後の進捗を聞かせてください
- ② クビアカツヤカミキリの被害状況と今後の梅の木への影響予測をお聞きします
- ③「小学校の統合はないのかなー」！  
梅園地区で、小学生を親族にもつ親御さんから尋ねられた質問です

一般質問は、広く町政に関し、報告や説明を求めたり、疑問をただしたりすることをいいます。

越生町議会では、一問一答方式で、議員個人の質問時間は60分以内です。



会議録はこちらから  
(12月議会は、3月以降に閲覧可能)

※ 記載した本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。  
全文は、図書館等に置いてある会議録か、越生町ホームページで閲覧することができます。

## 人口減少で迫られる 町合併に今から備えよ

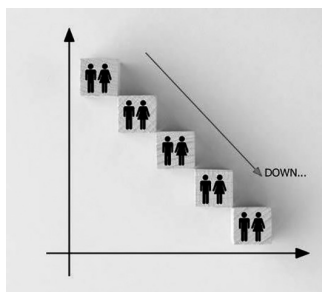
水沢 努



**問** 「2040年問題」と呼ばれている問題がある。日本の高齢化率がピークを迎え35%になり3人以上以上が高齢者となることから生じる問題群のことだ。具体的には、医療・介護サービスの逼迫、社会保障費の増大、労働力不足、地域社会の持続危機などだ。しかも越生町の場合、高齢化率は51%という驚異の数値になると予測されている（更に10年後に55%にまで上昇）。社人研の推計では2040年時点で越生町の人口は7800人にまで減少。約3800人の現役世代が4000人近くの高齢者を支える社会になる。財政難と人手不足でひっ迫している役場の現状から考えると、

**答** 越生町の行政資源（財源、人材等）はいずれ限界を迎えると思わないか。  
**答** 世界でも類を見ない速度で進む日本の人口減少は地方の自治体にとって厳しい行政運営となる。ことが想定される。将来的な行政資源の限界については、越生町長期総合計画後期基本計画の町民との意見交換会で、人口減少が進行した際には、現在のインフラを同じ形で維持継続し続けることが財政的に難しくなるため選択と集中というフェーズに入らざるを得ないと答えた。

**問** 大きな自治体との合併が町民に最大の安心安全を担保するのでは。  
**答** より広い範囲で、より財政力の高い自治体との合併を行うほうが数値的には有利となる。だが地域間格差が広がるなどのデメリットもある。町としては自治体間の連携の度合いや住民の意向をしっかりと汲み取ることが重要であり、更に国の方針や近隣自治体の動向などを総合的に判断すべきものと考えている。当面は広域連携や行政運営の効率化を中心に取り組んでいく。



## 住宅リフォーム工事の拡充を 今、福祉避難所の開設訓練を

高橋 一正



**問** 個人住宅等リフォーム助成制度の拡充について問う。この制度は、町民が町内の施工業者を利用してリフォームを行う時に補助するもので、町の活性化にもつながる貴重な制度だと考える。  
そこで、バリアフリー工事やエコリフォーム工事だけでなく、一般のリフォームその物に広げていくことが出来ないか。

**答** 個人住宅等リフォームも必要になってくると思うがどうか。  
**答** 来年度に向けて、補助を受けてから一定程度年数が経過している場合や、対象工事などについて見直しを検討している。  
**問** 近年、大きな災害がいつ起きてもおかしくない状況となっている。平時の常態である今こそ、災害に備える時と思う。越生町には福祉避難所として2箇所あるが、どのような時に開設されるか。

**答** 在宅の高齢者で、一般の避難所での生活に支障をきたす配慮者を受け入れるための福祉避難所として「特養ホーム光の丘」と、また、同様に、福祉施設等に入所等するに支障がない者を受け入れるための福祉避難所として「第2おごせ福祉作業所」の2つの法人と「協定書」を締結している。福祉避難所の開設にあたっては、施設との協議、調整を行ったうえで受け入れをお願いする。  
○平時であるいま、福祉避難所の開設訓練を計画し、地域にも知らせながら実施することを要望する。



# 猟友会越生支部への支援は紙おむつ支給事業の現状は

宮島 サイ子



**問** 有害鳥獣を捕獲する猟友会について越生町鳥獣被害防止計画に基づき伺う。①猟友会の組織体系と主な活動内容は。②越生町の主な支援と補助制度は。③越生支部猟友会の「高齢化」の影響は。④猟友会の存続が難しくなると、住民生活にどのような影響があるか。⑤高齢化対策として町・猟友会の取組みは。

**答** ①越生猟友会は、越生支部、毛呂山支部、鳩山支部で組織され、主な活動は有害鳥獣のイノシシやシカ等の捕獲や路上で死亡した後処理や狩猟技術の向上を目的とした射撃大会に参加している。②有害獣捕獲補助金として緊急捕獲経費やへい獣の処理費、わなの部材購入費の支援の他、国から交付される補助金も鳥獣害対策協議会を通じて全額交付している。③高齢化が進んでいる。④安全な生活を脅かす重大な問題に直面する。⑤入会を希望する方に対してわな猟免許取得費の一部を補助している。

**問** 紙おむつ支給事業は。①令和7年7月に変更された制度の内容と支給対象者の現状は。②移動販売車「うえたん号」に紙おむつを対象商品として扱っていただく事は可能か。③紙おむつを捨てる際の支援として、秩父市は少子高齢化対策として紙おむつ使用者のいる世帯の経済的負担軽減を図るためにゴミ袋を支給している。越生町も支給してはどうか。④高齢者のゴミ出し支援について、越生町で行っていること何か。



**答** ①改正後の対象者は要介護4・5の認定者他認知症で介助の必要な方で購入し、レシートで申請。上限5千円。②移動販売車での購入も対象。③実施予定はない。④町単独事業としてゴミ出し支援は行っていない。

# 7年度中に上谷バスケットコート修繕着手。中学生の声を聞いて

木村 好美



**問** 中学生の声を町が聞くために、こども議会の必要性は。また、最も声の大きい上谷公園のバスケットゴールを一刻も早く直すべき。中学生だけでなく、老若男女、望んでいる。保護者はクラウドファンディングの必要性を問う。ここまでやらなければならぬのか。

**答** ゴールは別業者に相談し、今年度、早急に片側を、今年度でもう一方を直すよう、検討中。中学生のこども議会については「越生中ふるさと教育」が、こども議会の目的と概ね同様の内容となっている。当面はこの形で継続していきたい。中学校が内容を見直す中で、提案があれば教育委員会も協力していく。

**問** 避難所について、国は「場所（避難所）支援」から「人（避難者）支援」へ考え方の転換をした。そこには、「市町村等においては、地域の特性や実状を踏まえ、良好な生活環境が確保されるよう指針を活用し、適切に対応を」とのこと。町は「人支援」に見直しをしたのか。また、良好な環境には「クリーンセンター」とは、「クレーンセンター」とはとやまとの協定は必要ではないのか。さらに、大規模災害の際、職員だけでは対応できないので、地域住民が主体の「仮称：避難所運営準備会議」の設置を求めているが、設置予定は。



**答** クリーンセンターと協議をした。鳩山町と協同で避難所が開設された場合の調整出来次第、協定を締結したいと思う。避難所運営準備会議の予定はないが、全29区の自主防災組織の避難訓練等を支援していく。

**問** 防災井戸について、国はガイドラインを本年3月に出している。これを参考に防災井戸について考えて欲しいとのこと。10年後では困る。今後の防災井戸計画の予定は。

**答** 国のガイドライン改訂後、可及的速やかに取り組む。

# 認知症啓発をもう一歩 クビアカ対策の強化を

島野 美佳子



**問** 認知症の啓発や取り組み状況は。

**答** 認知症関連の相談は、越生町地域包括支援センターに年間25件から28件寄せられる。認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を実施しており、コミュニケーションを増やす手段として移動販売車の運行やフレッシュユ体操教室などを開催している。

**問** 子育て支援は大切だが、バランスのとれた町政を、との声もある。図書館や公民館を活用して、認知症月間に合わせて視覚に訴える工夫をするなど、もう一歩進んだ啓発で高齢者に寄り添う気持ちを表せないか。

**答** 生涯学習課と連携して、関連図書を図書館入

口近くに置くなどしてみたい。

**問** クビアカツヤカミキリの被害が拡大している。梅は越生町の特長であり、花を愛でるだけでなく、暮らしや食文化、町を象徴する大切な看板であり、産業や観光の資源である。成虫が活動する夏場を控えて、どのような対策をするのか。

**答** 比較的作業負担の少ない殺虫成分を含むテープを配布する、補助金を活用した新植、改植を行っていただくなど、関係各機関と連携を図りながら、引き続き梅農家さんを支援していく。梅農家さん任せでなく、町長を筆頭に、町民を含め全町あげて取り組んでいく。

**問** 梅農家さんは最新の情報を欲している。また

太い木はクリーンセンターでは焼却できないなど、被害木の処分に困っている。なんとかならないか。

**答** 枝はウッドチップパーで粉碎できるが、特に太い木をどうするかについて思案中である。越生町が会場となる全国梅サミットでもクビアカについて取り上げる予定である。



図書館に設けられた認知症コーナー

# 「ハイキングのまち」宣言 10周年記念・クマ出没について

長根 弘倫



**問** 「ハイキングのまち宣言」について伺います。宣言によって町民へのメリット、デメリットは。

**答** メリットは町民の健康保持増進、地域の皆様によるハイカーのおもてなし等を通じて、地域コミュニティの活性化にも寄与しています。デメリットとしては、ハイキングに來られる方ほとんどが自然を愛する方ですが、一部の方がゴミを捨てたり、民地に入り込んだり、花や野草を勝手に取ったりするハイカー等もいます。観光協会と連携して注意喚起をしたり、HPなどでマナー等呼び掛けています。

**問** 10周年の節目に式典は行うのか。

**答** 来年4月29日に開

催する予定の「花の里おごせ健康づくりウォーキング大会」では、10周年を記念したノベルティの配布やゴール会場でのおもてなしイベント等を検討中です。

**問** ハイキングコースの安全対策や維持管理の実績は。

**答** 幕岩展望台、大高取山、傘杉峠に向かう階段や木橋等の整備、西山高取へ向かうハイキング道のナラ枯れ伐採、観光トイレの環境整備などです。

へ、ノベルティの配布をします。クマよけの鈴等は、候補の一つですが、予算の兼ね合いもあり観光協会と打ち合わせを密にしています。

**問** 越生町「健康づくり・ハイキング連携」の実績は。

**答** 「健康長寿プロジェクト」や「健康づくりマイレージ事業」、県の「コバトンALKOマイレージ」の受付を設け参加を通じて、みなさまの健康管理に役立てていきます。



「ハイキングのまち宣言」の立看板

# 漏水探偵と花火と盆踊り

栗原 誠



**問** 役場の方と、漏水の現場に同行させて頂いた結果、自宅以外の漏水は、そこに住んでいるすぐ近くの方にしか、中々見つけられるものではないというところがわかりました。ですので、町民の皆様には、『漏水探偵の目』を持って頂く為には、見つけて頂いた方に、お礼を用意することはできないでしょうか。

**答** ご質問の通り、町民の皆様には『漏水探偵の目』を持っていただき見つけてくれた町民の皆様にお礼をするという発想は、町内で発生する漏水を早期に見見する上でとても有効な手段であり画期的な取り組みであると考えます。

**問** 町内に、大きい音の出ない手持ち花火をできる所はありますか。またバーベキュー場以外にバーベキューをできる場所はありますか。

**答** 公共施設につきましては、火災予防の観点から、花火・バーベキュー等の火気使用について制限しております。また川原に関しては、飯能県土整備事務所に問い合わせてください。

**問** ①町の盆踊りはいつ頃までやっていましたか。②盆踊りをやめた原因は。③盆踊りを復活させることはできますか。また、復活させるためには、何が必要でしょうか。

**答** ①町では平成3年から平成17年まで中央公民館駐車場において実施しておりました。



漏水探偵

②中止になった経緯については、不明でございます。③8月のお盆時期となりますと、近年は猛暑なので、新たな事業を実施することは大変難しいと考えております。

また、復活し実施する場合には、やぐら、照明機器、熱中症対策など機材物品のほか、主となって踊っていただけの方々の協力の確保などが考えられます。

# 学校のふるさと教育の成果 生かせ避難行動要支援者名簿

池田 かつ子



**問** 越生中ふるさと教育は、何の教科の取組みか。  
**答** 総合的な学習の時間と特別活動。

**問** 総合的な学習の時間とはどのような時間か。  
**答** 学校ごとにテーマを決め取り組んでいるもの。例として、越生中1年生は、身近な地域を知ることから始まり、埼玉県、日本、世界に目を向け、発達段階に応じ、個人で興味関心があったものについて深めていく時間。

**問** 生徒の脱炭素の発表内容から町はどのようなことを期待するか。  
**答** 一人ひとりができる行動として、将来に向けて節水・節電等、身近なことから始めることが大事であり、ゼロカーボンへ関心を深めてほしい。

**問** 光耀祭で脱炭素社会に向けた発表はあったか。  
**答** 脱炭素についてはなかったが発表の中で、二酸化炭素削減、食品ロス、クリーン活動、緑化活動、ごみの排出量、リユースなど脱炭素社会に関する視点が多くあった。

**問** これまで積み重ねてきたふるさと教育への機会が高まり、定着しつつある。町の特色ある教育の一つに加えては。  
**答** 理念は、以前からあるが活用については、学校長と共有した上で子ども達への伝え方、地域の根ざし方を今後、時間をかけて検討していく。

**問** 避難行動要支援者名簿の災害時の活用は。  
**答** 台帳を基に、地域支援者から要支援者に電話等で状況確認をしたり、避難誘導をしたりする。  
**問** 災害時に備え、避難行動要支援者の開設訓練も必要と思うが。  
**答** 避難行動要支援者名簿は、弱者に寄り添う制度として期待されている。自主防災組織の開設訓練を行政区にお願いするとともに、町を上げて、積極的に進めていきたい。



光耀祭 (越生中)



Eco Day & Week

梅園から越生小に通学を希望  
クビアカの被害は全町に拡大

関根 真一



○梅園住居の児童を越生小学校に！「人格形成のため、多数の友の中で学ばせたい」という確認依頼があり、その通学にバス利用は可能かの問いを受けたことが発端です。

**問** 町から移送後のスクールワゴンは空の帰還ですが、そのバスの利用は可能ですか。(有料)

**答** 梅小から越生小への指定校変更は過去にもあり、通学もありましたが現在はなし。バス利用の希望は初めてです。

**問** 不可能な問題点は。要綱の第7条に触れる事項があります。

**答** それは、当時の見識者がその時に合わせ考えたもので、現代に生きるものが肝要だと思う。

**答** 今回は特認校制度の問題だけではなく、人格形成まで考えていることから、通学手段も一考してみます。

○この問題、梅小は5年後に生徒数が50人を切る事が予測出来ます。並行して国の指針で全国向け市町合併の話題が出ることも予測されます。

**問** 平物産の進捗状況をお聞きします。進捗が遅れが無いのか、現地で進捗が見えないとの声も。

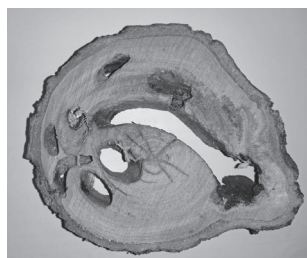
**答** 今月に入り先方と約した、新河川の位置に絡む工事を進めて頂いています。

○この問題は、奥が深く県の責任も大、最後まで連携を崩さずに。クビアカの被害が一挙に広がっています。防

御策を進めていますか。

**答** 被害の拡大は止まっています。実行すべき防御を推進します。

○クビアカ被害で、桜の現状を見た梅農家の方が「危険領域に入った」と言う方がいます。防御強化策を実行してください。



クビアカ被害の木の幹



スクールワゴン

越生町議会の  
YouTube配信を始めました

越生町議会では、開かれた議会の実現に向けて、令和7年6月定例会から一般質問の動画配信を始めました。

町議会や行政への理解を深めるきっかけになればと思います。ぜひご視聴ください。

越生町議会 YouTube 検索



## 勉強会報告 10月・11月・12月 『クビアカツヤカミキリ対策』

平成23年に深谷市で成虫1頭が捕獲されたものの被害は確認されず、平成25年に県南東部の葛西用水沿いのサクラで初めてクビアカツヤカミキリの被害が確認されました。



クビアカツヤカミキリの成虫

越生町から県への被害報告は令和5年度が初めてでした。ここに来て町内でも急速に被害が拡大し、町内各所でフラスが見られるようになりました。



樹木の穴から排出されるフラス

夏場に活動する成虫は、バラ科の樹皮の割れ目に最大で千個もの卵を産み付けます。

孵化した幼虫が幹の心材まで摂食して木を枯らし、放置すると倒木の危険があります。



クビアカツヤカミキリの幼虫

埼玉県では主にサクラへの影響が注目されていますが、同じバラ科である梅への影響は、越生町にとって産業、観光ともに大打撃となります。越生町議会としても、県へ更なる支援を要望すべく、情報収集に努め、町やJAいるま野梅部会との連携をはかるよう動いています。



越生梅林

## 戦争は絶対ダメ！ 越生町議会初の試み！ 『被爆者の声を聴く証言会』

令和7年12月2日、12月定例会初日の開会前に埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）による「被爆者の声を聴く証言会」が行われました。議場を使っての証言会は県内初とのことでした。当日は傍聴者17人、報道関係者3人、新井町長はじめ役場関係及び町議など29人で合計49人の参加でした。

しらさぎ会会長の三松保則さんは6歳の時、疎開先の広島市で被爆。爆心地から1キロの距離だった。稲妻のような「光の雨」がザアッと降り注ぎ、気絶。爆風でつぶされた家で動けなくなりましたが、父が壁に穴を開け、助け出された。頭や手足にくぎが刺さり、血だらけであった。避難した先で見たのは、水を求めてぞろぞろと川に入っていく人々の姿。「真っ黒な体で、裸で、顔がスイカのようにまん丸に腫れあがった人達が、手を前に出して、「みずう〜、みずう〜」

と言って川に入っていく人々の姿。

核兵器は一度使われると撃ち合いに発展し、動物も植物も全滅させ「6億年前の地球の姿になってしまおう」。「戦争は絶対にしてはいけない。絶対だめです。戦争しなければ、原爆もない。戦争を絶対起こさないように、なんとか努力していただきたい」と繰り返し訴えた姿が印象的でした。ありがとうございます。

越生町には「世界無名戦士の墓」があり、平和を世界にアピールする町として、このような企画が実現できたことを誇りに思います。この証言会を通じて、世界が平和に満ちることを願っています。



証言会の様子

## 中学生が初参加！ 『正月準備の越生駅』

越生駅の東西自由通路が開通して3年が経ち網戸、天井がすごい汚れてました。

それを見て思い立ったボランティア清掃も今年が5回目、例年通りのご参加の皆さまに、何と初めて中学校校長以下生徒15名強参加してくださり、清掃が大いに進みました。ボランティアの中心は近在の方。さらに、JAいるま野、高取郵便局、観光協会、商工会、鳩山町職員、の皆さま。

まちづくり整備課を中心とした職員、議員有志とその賛同者でした。どこまでやっても尽きない清掃、町の印象が大切と考える皆様の皆様のお力で、また、生き返ります。（12月20日）



# 和太鼓演奏をつうじて 人々と喜びを分かち合いたい

武蔵越生高校和太鼓部「青龍」のOB、OGによって2020年に結成された和太鼓集団「燈(ともしび)」の三代目リーダー木村大和さんに聞きました。

## 和太鼓との出会いに感謝

**飄箏から駒だった青龍入部**  
高校の面接で「入りたい部活は」と聞かれ、何もないのはまずいなど、その場しのぎで「和太鼓部に入りたいです」



毎年おっぺ川灯籠まつりでも演奏しています

と答えました。そして面接の先生が「私、和太鼓部の顧問です」と。やっちゃいました。さらに「君は体格もいいし向いてるよ」と追い打ちが。でも話していくうちに楽しそうに思えてきて入部することに。活動を始めると、即和太鼓沼にはまってしまいました。運命のいたずらに感謝！高校生活は青龍中心に回ることにしました。

**和太鼓の魅力はどんなところ**  
誰でも一撃で音を鳴らせて、誰でも想いを表現できるところですね。でも、そのように間口はとて広いのですが、奥はものすごく深い。どんな動物の革を張っているのか、樹齢何年の木を使っているのかなど、今でも和太鼓について興味が尽きません。和太鼓との出会いは終わりのない物語の始まりでした。



和太鼓 燈(ともしび) 代表 木村 大和さん

**燈をよくまとめていきますね**  
先輩に誘われて2023年に燈に参加、次の年の1月に代表になりました。僕は強方に引っぱるタイプではないですが、個性の強いメンバーたちをまとめるのは向いているのかもしれない。結成当初は片手で数えられる規模でしたが、現在では30名を越え、自主公演も行えるまでに発展しました。

**地域に根ざした活動をめざす**  
最近までローカルヒーローの悪役を演じていました。戦隊モノのローカル版です。地域に根ざした文化が好きなんです。大学の卒論も獅子舞の民俗学的考察の予定です。燈の活動も越生というローカルなコミュニティに根ざしたものにできたらと思います。燈は武蔵越生高校OB・OGという、越生で青春を共にした仲間たちの集団ですから。

誰でも一撃で音を鳴らせて、誰でも想いを表現できるところですね。でも、そのように間口はとて広いのですが、奥はものすごく深い。どんな動物の革を張っているのか、樹齢何年の木を使っているのかなど、今でも和太鼓について興味が尽きません。和太鼓との出会いは終わりのない物語の始まりでした。

最近までローカルヒーローの悪役を演じていました。戦隊モノのローカル版です。地域に根ざした文化が好きなんです。大学の卒論も獅子舞の民俗学的考察の予定です。燈の活動も越生というローカルなコミュニティに根ざしたものにできたらと思います。燈は武蔵越生高校OB・OGという、越生で青春を共にした仲間たちの集団ですから。

## 議会を傍聴 しませんか

町議会には、年4回(3月、6月、9月、12月)開かれる「定例会」と、必要がある時に開かれる「臨時会」があります。どちらも一般公開され、傍聴することができます。

また、一般質問の動画配信を本年6月定例会から始めました。

議会議員が、議会ですべての活動をしているかを直接見たり、聞いたりすることができ、町の動きを知ることができ、議会の開催情報などはホームページに掲載しております。「越生町議会」で検索してください。

### 議会傍聴者数

本会議	傍聴人数
12月2日(火)	17
12月3日(水)	3
12月4日(木)	14
12月5日(金)	9
合計	43

## 編集後記

人格形成期は、3歳から10歳くらいまでに確定すると言われていています。

先月、梅園にお住まいの方がお子さんを越生小学校へ通わせたいと打診があり、想像外なことに驚きました。

今の「学校選択制度」で以前にも数名通学していました。ただ、ご依頼は、その通学にスクールバスが利用できませんかとのことでした。

住民は平等ですから、どちらのバスも無ければ不思議です、少し問題もあり検討に入りました、ぜひ許可を。

実現し、友達が多ければさみしい思いが薄れます。

現実には人口は先細りです。老いた時、友達が少ないという事は寂しさの一つです。

(関根 真一記)

### 委員長

島野美佳子

### 委員

池田かつ子

### 委員

関根 真一

### 委員

高橋 一正

### 委員

長根 弘倫

### 委員

岩田 真一

### 委員

栗原 誠

### 議長

木村 正美

### アドバイザー

アドバイザー

